

全国主要男声合唱大会・特長

名称	入場料	特徴
日本男声合唱協会演奏会	一般1,000円 高校生以下500円	日本男声合唱協会（JAMCA）は1971年、男声合唱の振興、技術向上そして親睦を深めることを目的として発足、現在隔年で全国各地で演奏会を開いている。演奏会の参加資格は原則会員に限られるが、開催地の地元合唱団には門戸を開いている。演奏会は理事・監事団体の単独演奏と合同演奏が中心となっている。例えば、熊本地震の復興を祈念した2019年4月の“きなっせ”九州・熊本と題する演奏会では、単独6団体＋九州合同「典礼聖歌」3曲と全国合同「熊本民謡」5曲を演奏している。演奏の充実を図るため、当日リハ以外に複数地区での事前練習を行っている。また、機関誌「じゃむか通信」を発行、演奏会以外にもCD制作等さまざまな活動をしている。
彩の国男声コーラスフェスティバル	無料	1990年、埼玉県連が「おとうさんコーラス大会」としてスタート。夏の暑気払いとして、川口市のサッポロビール工場ではじめたのがきっかけ。その後1993年から関東支部共催となり、1996年新潟大会を機に関東支部主催と変わり、名称も「関東おとうさんコーラス大会」と変更された。2009年、埼玉単独で「彩の国男声コーラスフェスティバル」を立ち上げた。2014年までの6年間は両大会を並行して開催。2015年に両者を統合し「彩の国男声コーラスフェスティバル」に一本化した。県連に男フェス部門を置き、常務理事以下、3名の理事が専任で担当するとともに男声合唱プロジェクトYARO会と協力して大会を盛り上げている。高校生など未成年の参加を促したいが、アルコールありの懇親会とどう共存するかが悩みである。
青森県男声合唱フェスティバル	500円 中学生以下無料	このフェスティバルは県連とは無関係の組織として活動しており、2019年には30回目を迎える。そのような背景があるからか、青森県連に男声合唱部門はとくに置かれていない模様である。小規模ながら県連と関係なく長年維持しているのはある意味称賛に値する。現在、この男フェスのサイトはリンク切れしており、詳しいことが分からないのは残念である。フェスティバルへの参加は10団体程度と少ないため演奏時間を12分とかなり長く設定されているし、合同合唱として、例えば2019年は組曲「男声合唱とピアノのための『ねがい』」全曲を取り上げるなど充実している。参加団体の半数は県連未加盟であり、フェスティバルの主催は各団回り持ちで担当している。
神奈川男声合唱協会演奏会	1,000円	神奈川県連には男声合唱担当部門がないため、1995年県連外に協会を設立して活動している。2年に1回の全体演奏会と県内を4ブロックに分け、未加盟団体も取り込んでブロック演奏会を開いている。演奏会は会員のみなのでとくに参加要領のような案内文書は作成していない。2010年に県連と協力して第1回男声合唱フェスティバル開催に漕ぎつけており、今後さらに県連との協力関係を深め、継続してゆきたいと模索している。また演奏会以外にセミナーなどを企画し活性化を図りながら、高校生など若い合唱団との繋がり強化を検討している。
バックスフェスタ 関西男声合唱祭	小学生以上 1,000円	1999年発足。ローマ神話の酒神にあやかって付けられた名称であり、優秀な団体にバックス賞（副賞お酒）が贈られるが、表彰時にいないと副賞のお酒等は没収される。演奏時間を1分1万円で3分まで買い取ることが出来るというユニークなシステムを導入。時間を購入した場合も、あるいは規定以上にオーバーした場合にも、ペナルティとして一律3万円徴収する。また、2019年のフェスタでは「レディースコーラスフェスティバル出演賞」が設定されている。これは優秀な団体を2020年に予定されている同フェスティバルのゲスト出演を推薦するというもの。

男の合唱まつり inみやぎ	無料	<p>1999年発足。この大会は県連と男の合唱まつり実行委員会との共催で行われている。演奏順は直前に抽選で決める。面白いのは、30秒以内の演奏時間オーバーはペナルティとして懇親会用に酒一升の提出が必要で、その後30秒ごとに一升が加算される。時間オーバーはステージ上でプラカードを掲げて知らせる。進行の途中で、2~3回全員合唱を行う。</p>
東京男声合唱フェスティバル	一般・大学生 1,000円 高校生・65歳以上 500円 中学生以下無料	<p>2001年発足。出演団体及び聴衆による人気投票があり、最高得票の団体は翌年招待演奏の栄誉を受ける。この大会は他の大会とは一線を画し、お酒の出る懇親会はやらない。その結果、すべての時間を演奏に当てることができるし、未成年も同じように楽しめる。50団体まで受け入れており規模は全国最大と思われる。10時半開始、19時半終了の長丁場である。(以前は54団体で10時半から20時半だったが、さすがに膨らみ過ぎたのかやや縮小傾向にある)演奏時間超過はそこで演奏を中断して貰う。事前説明会で出演順の抽選を行う。欠席すると出場辞退と見做す場合がある。100名程度のフェスティバル記念合唱団を公募し、事前練習を経て本番に臨んでいる。</p>
長野県男声合唱フェスティバル	1,000円	<p>2007年、塩尻にて5団体で発足。当初は毎年開催していたが近年は隔年開催となった。ほぼ6~7団体が参加。大会主管はブロック単位で持ち回り。単独演奏は15分。参加費は主管団体の判断によるがほぼ1000円程度。長野県では2020年7月18日(土)~19日(日)、第8回全日本男声合唱フェスティバルの開催が決まっており、現在その準備が県をあげて進められている。会場はJR長野駅より徒歩10分のホクト文化ホール。客席数1,971席、2層のバルコニーを持つ県内最大のホールである。</p>
全日本男声合唱フェスティバル	第1日目 聴講料500円 第2日目 1,000円	<p>2000年発足。全国に遅ればせながらも取りあえずは無理のない範囲でと1年おきの開催予定でスタート。記念すべき第1回は宮崎で開催。ところが思いのほか手ごたえが良く、勢いに乗って2015年の第4回以降は毎年開催にしようと盛り上がったものの、その後やや息切れ状態となり、2019年は一休みして、2020年に長野での開催を決定している。土日2日間に渡ってそれも地方での開催は現役にとってやや敷居が高い。北海道から九州までと広い範囲が対象なので、参加状況はいま一つ厳しい状況にある。とくに単独の合唱団での遠征はしにくい事情がある。当然だが、毎回、開催地からの出場が多いのが特徴である。団を越えて有志合唱団を結成して参加する形が現実的であろうか。例えば、北海道では道内の合唱団に呼びかけ北海道男声合唱団として参加している。また、埼玉では県内5団体で組織している男声合唱プロジェクトYARO会の有志が男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニーを編成し参加している。</p>
愛知県男声合唱フェスティバル	900円	<p>JAMCA演奏会と交互になるよう隔年開催としている。こだわりは組曲が演奏できる1団体15分間を確保していること。合同演奏は400名の大合唱になる。指揮は参加団体が交代で担当し、合同練習会を事前に2回開催し演奏の質を高めている。会場は刈谷市総合文化センターに固定しており、懇親会は全員を収容できる場所が近隣にないため、残念ながら参加合唱団スタッフのみの60名ほどで実施している。</p>
静岡県男声合唱フェスティバル	1,000円	<p>1994年「第1回男声合唱の夕べ」、2017年「第2回静岡県男声合唱のつどい」開催後途絶えてしまった。そこで、恒常的に男声合唱人が自由に一堂に会する場を作ろうと、任意団体として静岡県男声合唱倶楽部を発足し、県下の団体に参加を呼び掛けている。静岡は男声合唱団が比較的小さいため、合唱団の規模やレベルを気にせずお互いに聴き合う大会を目指している。</p>